

令和5年度都立成瀬高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	実社会での国語による諸活動に必要な能力と共感力・想像力、自国の言語文化への理解力を伸ばす指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・「現代の国語」「言語文化」「文学国語」「古典探究」「現代文B」「古典B」の科目それぞれで適切な文章を選択し授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価の3「学びに向かう力、人間性等」の判定方法の工夫 ・生徒のやる気を引き出す評価につながる観点別評価の計算方法の検討
地歴	社会的な見方・考え方の涵養と社会的課題の追究・解決を目指す学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析および作題検討会の実施 ・一人1台端末を駆使した主体的な探究学習の実施 ・グループワーク等による対話的で深い学びの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト及び大学入試問題の分析・検討を踏まえた授業の構築と実施 ・地理・歴史を総合したレポート課題の作成と、ICTを活用した主体的に学習をすすめる実践
公民	よりよい社会の実現をめざすための課題の追究・解決をめざす学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析および作題検討会の実施 ・一人1台端末を駆使した主体的な探究学習の実施 ・グループワーク等による対話的で深い学びの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト及び大学入試問題の分析・検討を踏まえた授業の構築と実施 ・現代の諸課題をテーマとしたレポート課題の作成と、ICTを活用した主体的に学習をすすめる実践
数学	基礎力の充実から、数学的な見方ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度授業を利用し、学習レベルに応じた基礎力をつける授業の実施 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・応用的な問題を、最後まで解き切る力をつけるための授業・補習の実施 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	「科学的に探究する力」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象から必要な情報を抽出できるように実験、観察を行う ・情報を整理し、考察を行う実験を行う ・探究する態度を育成するためのグループ活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中や放課後等を利用した発展的な実験・観察の実施 ・理数研究推進委員会と協力して、学術的な講演会の実施 ・フィールドワークの実施
英語	4技能の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・論理表現や英語表現において定期的に英作文、エッセイの指導 ・ディクテーション、スピーチコンテストの実施 ・1年次でのTGG体験 ・英語検定の準会場になることにより、外部試験の積極的指導 ・1、2年次においてGTECの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月オーストラリア海外研修旅行の実施 ・オンライン英会話の取組を評価する
保健体育	運動の技能と共に自ら体力向上に取り組めるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康についての課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて自ら取り組み、生徒同士が相互にアドバイスできるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって継続して運動に親しめて、健康の保持増進、明るく豊かな生活を営める能力を養う
芸術	ものの見方・考え方を身につけ、表現するための技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技法を確実に理解した上で身につけられるようにする ・生徒相互の発表会や講評会を実施し、講評できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究」の過程と結びつけ、他教科とのかかわりを考え、考え方を援用しながら表現について考える、
情報	主体的学習に課題解決していく学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は主体的、課題解決型実習を多く掲載しているものを使用 ・副教材では課題解決のためのツールを中心とした実習教材を導入 ・情報Ⅰ各単元で主体的な課題解決のための課題やプレゼンテーションなどを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅱでは数学的、科学的な側面から、より発展的な内容を扱う ・情報デザイン、プログラミング、データ活用などの分野ではそれぞれのレベルに応じた学習活動を行う
家庭	生活を主体的に営み、実践する力を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・発表活動を個人、班などで行い、視野を広げ、コミュニケーション能力を養う ・調理実習をはじめ、様々な実習活動を取り入れ、問題解決能力や実践力を培う 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習を行い、進路活動に活かす